

2020年度 企業支援および地域振興の取り組み

～地域密着型金融の取り組み結果と2021年度計画～

2021年6月



当金庫は、『地域の皆さまと共に豊かな未来を創造します』という経営理念のもと、地域や企業の価値を高めるお手伝いによる「価値創造型金融」を進め、地域の皆さまの課題やニーズに積極的にお応えします。
また、信用金庫の持つ社会的責任と公共的使命を自覚し、「相互扶助」「共存共栄」の精神で「地域密着型金融の推進」に取り組んでまいります。

当金庫の取り組みの一部についてご紹介しますので、本資料を通じてご理解いただければと思います。

2020年度の取組実績

<地域密着型金融に係る年度目標と実績>

目標項目	目標件数	実績
①課題の把握・分析による経営相談(「みらい創造サポート」)	60件	60件
②事業者との対話を通じた企業価値評価(経営サポート強化支援)	20件	14件
③専門家派遣制度の活用	10件	6件
④公的施策の活用、外部支援機関連携支援	30件	22件
⑤事業承継・相続等の相談受付	100件	124件
⑥商談会・ビジネスフェアなどによるビジネスチャンスの創出	3回	3回
⑦自治体・経済界との「金融懇談会」の実施	3回	1回
⑧地域企業の人財育成支援	8件	9件
⑨産学官金連携事業の活用	10回	6回

2021年度の年度目標

<地域密着型金融に係る年度目標>

目標項目	目標件数
①課題の把握・分析による経営相談(「みらい創造サポート」)	70件
②事業者との対話を通じた企業価値評価(経営サポート強化支援)	7件
③専門家派遣制度の活用	10件
④公的施策の活用、外部支援機関連携支援	30件
⑤事業承継・相続等の相談受付	120件
⑥商談会・ビジネスフェアなどによるビジネスチャンスの創出	3回
⑦自治体・経済界との「金融懇談会」の実施	2回
⑧地域企業の人財育成支援	8件
⑨産学官金連携事業の活用	10回

2021年度の事業計画

2021年度の事業予定

(新型コロナウイルス等にて実施時期が変更となる場合があります)

4月 アウトドアガイドセミナー #1

8月 メディカルカフェ(札幌医科大学連携事業)

9月 NoMaps釧路・根室2021 高校生アイデアコンペティション受付開始

10月 NoMaps釧路・根室2021 高校生アイデアコンペティション締切

11月 NoMaps釧路・根室2021 高校生アイデアコンペティション発表

NoMaps釧路・根室2021 カンファレンス他

12月 アウトドアガイドセミナー #2

開催時期 大地みらい移動医科大学(札幌医科大学連携事業)

未定 北海道大学特別出前教室(北海道大学連携事業)

■ コンサルティング機能の発揮

経営サポート強化支援

	2019年度	2020年度
経営サポート強化支援対象事業者	15先	14先
経営改善計画策定事業者	116先	121先

経営サポートの内容

サポート事例① 食品製造・販売業者	<ul style="list-style-type: none">・ 経営ガバナンス強化を目的として、経営会議の定例開催を提言・ 上記経営会議に参加し、助言や問題提起を実施・ 販路開拓支援として、当金庫取引先とのマッチングや商談会・イベント出展案内のほか、営業強化に向けた支援を実施
サポート事例② 水産加工業者	<ul style="list-style-type: none">・ 水産資源環境や組織態勢を踏まえた経営計画の策定支援・ 経営幹部との面談による経営危機意識の醸成・ 新商品開発に関する助言や営業戦略への意見具申・ 各種セミナーや商談会の案内

コンサルティング機能の発揮

多様化するお客様ニーズへの対応取組 ～プレミアムサポートセンター～

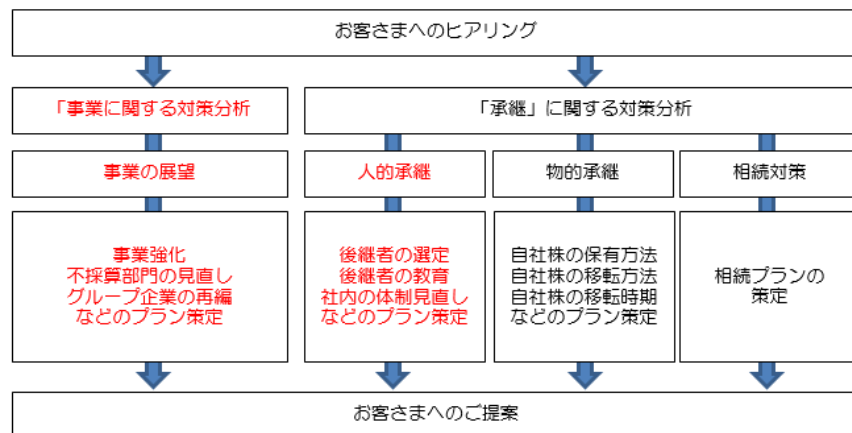
多様化するお客さまお一人おひとりのニーズにお応えする「One to Oneマーケティング」による総合的な提案力強化にむけて、事業者の最大の課題である事業承継と個人のお客さまの大切な資産の運用・管理等に関する相談に対応する専門部署として「プレミアムサポートセンター」を平成27年より設置しております。

	2018年度	2019年度	2020年度
事業承継相談	40先	19先	36先
相続相談	5先	102先	88先

※2020年度に遺言公正証書作成したお客さま9名
(遺言信託・金庫累計15先)。
遺言の重要性・必要性について引続き情報提供いたします。



「自社株を誰に引き継ぐか(所有承継)」だけではなく、「**後継者教育をどう行うか(後継者教育)**」も重要です。当金庫は、後継者育成プランの策定・実行、後継者や経営を支える社内人材の成長支援、事業を強化し持続可能性を高めるお手伝いなどトータルに事業承継をサポートします。



※「遺言信託・自社株承継信託・遺産整理業務」は、本店・中標津支店・釧路支店・鳥取西支店・札幌支店の5店舗にて取扱い。
※しんきん相続信託「ころのバトン」、しんきん暦年信託「ころのリボン」は全店舗で取扱いしております。

■ コンサルティング機能の発揮

札幌オフィスの活動 ～根室・釧路地域と札幌圏との架け橋～

自治体間・企業間連携体制の構築に向けて根室・釧路地域の魅力・資源・可能性を札幌圏や他地域の人々・企業に伝え、交流活性化のサポートに力を込めています。

北海道大学や各種機関とのコーディネート

北海道大学と民間 との連携サポート

北海道大学は道内の農林水産業を強靱化するための研究(ロバスト研究拠点)を進めており、当庫は北大と連携し、地域の関係団体、企業・事業者へ当該研究成果を繋げる役割を担っています。

事業創造・企業 価値創造サポート

特許庁、日本弁理士会、北海道発明協会等と連携し、中小企業・事業者において知的財産権の活用を図るための取組みをしています。中小企業等が有する特許等の財産的価値を専門家から評価分析してもらい今後の企業経営戦略の作成支援をしています。

地域の面的発信への積極的参画

KONSEN(根釧)魅力創造ネットワークの取り組み

北海道の「根室」「釧路」にある優れた「食」資源・「地域」資源を全国、海外に発信し、地域の魅力を多くの皆さまに知ってもらうことで地域の活性化、産業の発展につなげていくことを目的に、企業、自治体、大学、支援機関がそれぞれの垣根を越えて連携して取り組む組織として平成24年12月に設立しました。

■ 会員数：食関連事業者36先、観光関連事業者18先、支援機関17先 合計71先 ■



過去のFOODEX JAPAN出展の様子
(2020年度は新型コロナウイルス感染拡大のため未出展)

地域の面的発信への積極的参画

観光分野へのアプローチ

地域活性化推進事業（人材育成） インバウンドおもてなし英会話講座開催

- 日時：令和2年6月17日から毎週水曜日（全4回）
- 講師：清水 麻琴
（地域みらい創造センター札幌オフィス アドバイザー）
- 開催方法：Webexを利用したオンライン開催
- 受講者：12名



今年はコロナ禍でインバウンドが大幅に減少しています。しかし、令和3年9月にはアドベンチャー・トラベル・ワールドサミット（ATWS）の開催が北海道で予定されており、根室釧路地域においてもアドベンチャートラベル（AT）を主軸とした観光産業の重要性は一層強まっています。

これまであまり外国人に接する機会がなかった「飲食業・宿泊業」の事業者・従業員の方々を対象に、インバウンドへのおもてなしの際に現場で使える英会話を身につけていただき、地域としてのインバウンド対応力向上と地域観光産業の振興を目的に英会話講座を開催しています。

今回は、在札幌オーストラリア領事館での勤務経験を持つ当金庫アドバイザーの清水を講師とし、飲食店・宿泊施設・ガイド向けの3パターンに分けて実施しました。回数を重ねるごとに、参加者の発音が上達し、英語で話すことに少しずつ抵抗が無くなっていくのを感じることができました。

主催：大地みらい信用金庫・一般財団法人 大地みらい基金

おもてなし英会話

コロナ禍の今だからこそ、英会話のスキルを磨きませんか？オンラインレッスンなので、ご自宅からお気軽に参加できます。英会話初心者の方、「英語はちょっと苦手」と思っている方でも大丈夫！「おもてなし」に使える簡単なあいさつや基本表現を交えてお客様をおもてなしすることで、北海道の印象はぐっとあがります。
Let's communicate in English!

講師 しみず まこと
清水 麻琴 氏

【講師経歴】
札幌市出身
リクルート北海道じゅらん、在札幌オーストラリア領事館勤務を経て、現在は大地みらい信用金庫のアドバイザー。通訳や翻訳の経験と世界50か国以上の旅行経験を活かして研修で使える英会話を指導します。

開催日 令和 2年6月17日(水)～7月8日(水)
毎週水曜日 全4回

受講時間 初級接客コース 14:00～15:30 **受講料 無料**

【講座の内容】
初級接客コース 簡単なあいさつと基本表現、場面別の接客に必要な英単語を学ぶ。

参加方法 テレビ会議アプリを使用、PCまたはスマートフォン等での視聴可能なWEB環境が必要です。
登録申し込み後、お申込みメールアドレスに視聴案内をお送りします。

対象者 根室・釧路管内および札幌の宿泊業、飲食業、その他関係者の方

お問い合わせ ▶ 大地みらい信用金庫 地域みらい創造センター
根室・清水
TEL 011-218-1516 FAX 011-218-2177
E-mail shinkin@daichimirai.co.jp

地域の面的発信への積極的参画

観光分野へのアプローチ

地域活性化推進事業（人材育成）

地域英語ガイド研修の開催

令和3年9月にアドベンチャー・トラベル・ワールドサミット（ATWS）が北海道で開催されることが決定し、根室・釧路地域でもアドベンチャー・トラベル（AT）ツアーが予定されています。当地域の観光産業を盛り上げるには、ATの旅行形態に対応することが重要な課題です。ATWS北海道を一つの契機に、地域としてアフター・コロナのインバウンドに対応し、スムーズな受入れと訪問客の満足度を向上させるために、必要最小限の「英語コミュニケーション力」を養い、地元ガイドを育成するための研修を開催しました。

この研修では、アフター・コロナを見据え、地元関係者が外国人訪問客に地域の魅力・歴史・特徴を自ら英語で説明し、コミュニケーションできる技術を身に付け対応レベルを向上させることを目標にしました。

参加者は、標津町生涯学習センター「あすぱる」にて、北海道アドベンチャートラベル協議会の荒井会長を講師に、コロナ禍でツアーガイドが留意すべき事項や、簡単な英語フレーズで地域の観光商品・サービスを提供するポイントを座学で学んだ後、標津サーモン科学館・ポー川史跡自然公園へ移動し、英語での実践ガイドを体験しました。最後に、座学会場へ戻り今回の体験を自身の業務に応用するワークショップを実施しました。参加者からは、「簡単な英語を有効的に使うコツを学ぶことができた」、「現場でのガイドを体験できたので、仕事でも活かそう」といった感想をいただきました。

- 日 時 令和2年10月22日（木）10：00～16：30
- 主 催 大地みらい信用金庫、一般財団法人 大地みらい基金
北海道アドベンチャートラベル協議会（HATA）
- 場 所 標津町生涯学習センター「あすぱる」
ポー川史跡自然公園、標津サーモン科学館
- 参加者 29名
- 講 師 荒井 一洋 氏
（北海道アドベンチャートラベル協議会会長）



地域の面的発信への積極的参画

観光分野へのアプローチ

地域活性化推進事業（観光支援）

◇アウトドアガイドセミナー「ビジネスにつながるアウトドアガイドのあり方」

◇フィールドワーク「プロガイドとアマチュアガイドの違い」

◇フットパスセミナー「プロガイドが語る『フットパスの価値の高め方』」

〈北海道根室振興局共催〉

新型コロナウイルス感染症が衰える気配を見せず、あらゆる企業・事業者の方が影響を受けており、観光業に携わる事業者の方も例外ではありません。しかしながら、コロナ禍が落ち着きを取り戻すと類い稀な自然に恵まれている根釧地域は、いち早く観光旅行者の回復が期待できる地域であり、今後のスムーズな受け入れと満足度を高める備えが必要です。

当地域で活躍するガイドや観光に携わる方々へ専門知識やビジネスにつながるスキル習得を目的に、世界を舞台にネイチャーガイド・写真家として活躍する安藤 誠氏を講師に北海道根室振興局と主催し二日間にわたりセミナーを開催しました。

アウトドアガイドセミナーでは「ビジネスにつながるアウトドアガイドのあり方」、「プロガイドとアマチュアガイドの違い」をテーマにセミナーとフィールドワークを実施。フットパスセミナーでは「フットパスの価値の高め方」について講演いただきました。質疑応答では受講者からの多くの質問に安藤講師から一つ一つ丁寧かつ的確な回答でコロナ禍での事業に不安を抱えている受講者へ元気と勇気を与えていただきました。



- 講演者 安藤 誠氏（北海道認定アウトドアマスターガイド
ウィルダネスロッジ・ヒッコリーウインド代表）
- 日 時 令和2年12月7日(月) 10:00～16:45
令和2年12月8日(火) 10:00～12:00
- 場 所 中標津町経済センターなかまっぷ
- 主 催 大地みらい信用金庫、一般財団法人 大地みらい基金
北海道根室振興局
- 共 催 ウィルダネスロッジ・ヒッコリーウインド
- 参加者 アウトドアガイドセミナー36名
フットパスセミナー 22名

地域の面的発信への積極的参画

ビジネスマッチング・販路拡大支援

信金中央金庫との連携事業 食のオンライン商談会

食品関連事業者を取り巻く環境が、コロナ禍を受け既存販路における売上減少のみならず、イベント中止や営業活動抑制から販路開拓の面でも影響を受けるなど厳しい状況が続いている中、地域の食品関連事業者のビジネス創出を後押しするため、オンライン商談会を開催しました。

- 日 時 2020年11月6日(金)
- アプケーション Zoom
- 参加企業 当庫取引先11社



JETROとの連携事業 水産食品輸出動向WEBセミナー

新型コロナウイルス感染症終息後も経済の本格的な回復には時間を要するとの見方が強まり、国内市場の低迷が長期化することによって、改めて海外販路開拓の動きが活発になるとの予想から、地域の基幹産業である水産食品の輸出動向に関するオンラインセミナーを開催しました。

- 日 時 2020年11月19日(木)
- アプケーション Zoom
- 参加企業 8社、25名



地域の面的発信への積極的参画

地域の魅力ある観光資源の発信

知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイの立ち上げにかかわり、フットパスを中心とした地域の観光資源を磨き、「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある空間づくり」に携わる活動を支援しています。

シーニックバイウェイ(Scenic Byway)とは…

景観・シーン(Scene)の形容詞シーニック(Scenic)と、わき道・より道を意味するバイウェイ(Byway)を組み合わせた言葉。地域に暮らす人が主体となり、企業や行政と手をつなぎ、美しい景観づくり、個性的で活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを目指す取り組みです。2019年月12末時点で13の指定ルート、3つの候補ルートがあり、約440団体が活動しています。

知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイの活動



運営代表者会議



観光ルートマップの作製



フットパスツアーの開催

地域産業×デジタル化に向けた取組み

新たな産業創出・地域の人財育成支援への参画

NoMaps釧路・根室への参画

NoMaps釧路・根室とは

2016年から札幌にて開催されているNoMaps（実行委員長 伊藤博之 クリプトン・フューチャー・メディア（株）代表）と連携し、当地域の基幹産業である水産業、酪農業、そして観光業とIT・IoT・AI等の情報技術を融合させることで、新たな産業の創出や地域で活躍する人材を育成することを基本テーマに、2019年からNoMaps釧路・根室を開催しています。

第2回目となる今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から会場開催は見合わせ、「このような時だからこそ、地域の価値向上のために力強く発信していく事が重要」というNoMaps釧路・根室2020実行委員会（実行委員長 荒井 誠）の総意のもと、オンラインを活用してNoMaps釧路・根室2020を開催する運びとなりました。



NoMaps（ノーマップス）の名前の由来

米国のSF作家、ウィリアム・ギブソンを追ったドキュメンタリー映画にちなんで命名。「地図なき領域を開拓する」という願いを込めている。



地域産業×デジタル化に向けた取組み

「NoMaps釧路・根室2020」

NoMaps2020では、5つの事業を実施しておりますが、主な3事業をご紹介します。

10/30 15:00-16:30
NoMaps
ローカルプレーヤー
これからの地方の働き方について

中西 拓郎 四宮 琴絵 服部 亮次 清水 達也

カンファレンスⅠ ローカルプレーヤー～これからの地方の働き方について～

リモートワーク拠点として高いポテンシャルを持つ北海道での働き方や地方で働く魅力について4名のローカルプレーヤーによるトークセッションを配信。

高校生ビジネスコンペティション

高校生が起業家精神を学び、将来のふるさとへ熱い想いをもちながら、地域の産業振興、活性化に資するビジネスプランを創造する機会を通じて地域の人材育成を図ることを目的に開催。9校 25チーム 98名の高校生が参加



11/13 16:00-17:30
NoMaps
道東の未来を託す若者を発掘したい
高度IT人材の発掘・育成と地域創生

水丸 和樹 中島 秀幸 森谷 安寿 藤江 聡 田中 那智 坂本 大介

カンファレンスⅡ 道東の未来を託す若者を発掘したい～高度IT人材の発掘・育成と地域創生～

ITを駆使してイノベーションを創出できる突出した人材発掘・育成を目的に実施される国家プロジェクト「未踏プロジェクト」出身者をゲストに招き、地域で活躍するための環境整備等地域での働き方や地域創生に繋がるトークセッションを開催。

【主催】 NoMaps 釧路・根室2020実行委員会 実行委員長 荒井 誠

【共催】 NoMaps 実行委員会

北海道大学ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点、大地みらい信用金庫、（一財）大地みらい基金

【協力】 クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

【後援】 （公財）釧路根室圏産業技術振興センター、釧路工業技術センター、北海道釧路総合振興局、北海道根室振興局、北海道教育庁釧路教育局、北海道教育庁根室教育局、釧路商工会議所、根室商工会議所、釧路信用金庫
北海道新聞社、釧路新聞社、根室新聞社

一般財団法人大地みらい基金を通じた地域支援

地域活性化推進事業（価値創造調査）

ふるさとポケットガイドブック第7号発刊

大地みらい信用金庫・大地みらい基金では根釧地域で親しまれ、地域で語り愛されている歴史や文化にスポットを当て地域の魅力を発信する小冊子「ふるさとポケットガイドブック」をシリーズで発刊しています。

第7号のテーマは「北の狩人 オホーツク文化」。根室市、標津町、羅臼町にまたがる数々の遺跡、出土資料が存在し学術的に価値ある歴史・文化資産としてオホーツク文化の存在を広く伝えることを目的に発刊しました。

■第7号テーマ 「北の狩人 オホーツク文化」

続縄文文化、擦文文化と並行して存在し、後に続く文化に大きく影響を与えながら、歴史的に突然現れ忽然と消えたオホーツク文化の神秘性や価値ある歴史文化を紹介

■発刊日 令和2年11月30日

■発刊部数 2,000部

■既発行ふるさとポケットガイドブック

第1号「根室 金刀比羅神社」

第2号「上武佐 ハリストス正教会」

第3号「東北海道のご都 あっけし」

第4号「標茶 釧路集治監」

第5号「伊能忠敬の蝦夷地測量 野付半島幻の街キラク」

第6号「前田正名と釧路の製紙業」



■ 積極的な情報発信

地域の大切な文化を紡いでいく

JAZZの街「ねむろ」の発信

大地みらい信用金庫は、「ジャズの街ねむろ」を発信すべく様々な取り組みを行っています。

JAZZの街の由来は、1970年代に根室のジャズ愛好家「ネムロホットジャズクラブ」が中央のジャズプレイヤーを招き、ライブを企画したことから始まっています。日本の東端の小さな地方都市でのライブに多くの熱いジャズファンが訪れ、「根室のライブは最高！」そのような評価が多くのジャズメンに広まり、日野皓正や渡辺貞夫など日本を代表するプレイヤーが次々に根室を訪れ、ライブが行われてきました。

■ SAPPORO CITY JAZZ協賛と札幌ジュニアジャズスクール活動支援 ■

【SAPPORO CITY JAZZ協賛開催】

〔開催日〕 2020年10月4日(日)

〔場 所〕 札幌文化芸術劇場 hitaru

札幌支店開設5周年記念事業として、お取引先の皆様へ感謝の気持ちをこめ、根室にゆかりのあるジャズバンドの演奏や、根釧地域の食材を使用したフードメニューをお楽しみいただきました。



【地域の文化財の継承・紹介事業】

根室に縁のあるジャズが誕生した経緯を広くPRし、根室のジャズ文化を後世に長く伝えるために、小冊子を作成しました。



【札幌ジュニアジャズスクール活動支援】

札幌ジュニアジャズスクールは、生徒の小中学生がビッグバンドを編成し、音楽イベント出演や地域交流クリニック、音楽を通じた社会福祉演奏活動を行っています。2020年度はコロナ禍にて満足のいく活動は残念ながらできませんでしたが、引き続き活動支援を行ってまいります。

地域の魅力ある観光資源の発信

■ 知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイの活動 ■

地元×大人旅 ジモトナタビキャンペーン

■ 第一弾 2020年8月7日～9月30日

■ 第二弾 2021年3月5日～3月21日

【ジモトナタビとは】

知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイと根室振興局が連携し、「withコロナ時代のドライブ観光」を提案。

コロナ禍でも、感染拡大防止を図りつつ旅行により気分をリフレッシュできるよう、夫婦や恋人など、大切な人と（密にならない）、地元から出ることなく（感染拡大防止）旅行を楽しみ、今まで気づけなかった自然・歴史・食など地元の良さを再発見していただきたいという考えのもと提案。本キャンペーンでは、SNS投稿やアンケートへの回答を通じて応募してもらい、オリジナルグッズや抽選で地元特産品の贈呈を実施。



「ジモトナタビ」は「地元×大人旅」の、夏・秋・冬・春の4シーズンを通して、地元の人々の暮らしや自然の魅力を発信する。地元×大人旅の魅力を発信し、地元の人々の暮らしや自然の魅力を発信する。地元×大人旅の魅力を発信し、地元の人々の暮らしや自然の魅力を発信する。

「ジモトナタビ」応援キャンペーン

1 「ジモトナタビ」Instagram・フォトコンテスト

2 アンケートに答えてFehSBWオリジナル・エコバッグをもらおう！



地元×大人旅

ジモトナタビ 食べて応援！ キャンペーン

「ジモトナタビ」とは「地元×大人旅」の、withコロナ時代の、新しいドライブ観光の提案です。大切な人とゆっくり旅して、地元の魅力を味わいませんか？ 知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ (Far East Hokkaido Scenic Byway) と 北海道振興局は「ジモトナタビ」を応援します！

50%OFF 地元の素敵な特産品が当たる！

食べて、撮って、飲食店を応援しよう！

外部機関との連携を通じた地域活性化

大学との連携による地域人財育成事業および地域貢献事業



根室・釧路
地域の学生

大学の高度な研究を知る・
体感する・考える機会の創出
による学びの機会の提供

北海道大学

研究シーズと市場ニーズの
マッチング、人材育成など
にむけた包括連携協定

地域住民
医療関係者



最新の医療情報などの知見や、
医科大学生の地域医療への
関心を高める場の提供

札幌医科大学

保険・医療・福祉の向上に
よる地域社会の発展に
むけた包括連携協定

持続可能な
地域の実現

大地みらい
信用金庫

■ 外部機関との連携を通じた地域活性化

札幌医科大学との連携協定事業

■ 大地みらい移動医科大学 ■

札幌医科大学と大地みらい信用金庫では、北海道および地域の保健・福祉・医療の向上に資することを目的に、包括連携事業として「大地みらい移動医科大学～地域医療のみらいに向けて～」と題し、札幌医科大学が持つ最新の医療情報、知見等を根釧地域の医療・介護関係者に提供、共有する取組みを行っております。

6回目となる大地みらい移動医科大学では、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、オンラインによるリアルタイム配信形式とし根釧地域医療・介護関係者から70名の申込を頂きました。『コロナ禍から見えて来た行政、病院および介護施設における感染対策上の課題』をテーマに、札幌医科大学講師の上村先生よりご講演をいただきました。札幌市における新型コロナウイルス感染症対策の第一線で活動する立場と高度救命救急の現場経験から、地域の医療・介護機関が今後どのような点に留意し対応していくべきかについて講演いただきました。参加者にとっては、札幌の医療最前線で、まさに今、実践されている具体的事例の解説に学ぶものは大きかったようです。

- 講演者 上村 修二 氏
札幌医科大学 救急医学講座（高度救命救急センター）講師
- テーマ 「コロナ禍から見えて来た行政、病院及び介護施設における感染対策上の課題」
- 日時 令和2年12月12日(土) 15:00～16:30
- 主催 札幌医科大学、大地みらい信用金庫、一財）大地みらい基金
- 後援 釧路市、一社）釧路市医師会、一社）釧路歯科医師会
一社）釧路薬剤師会、公社）北海道看護協会 釧路支部
- 視聴参加 70名
- アプリケーション Zoom



外部機関との連携を通じた地域活性化

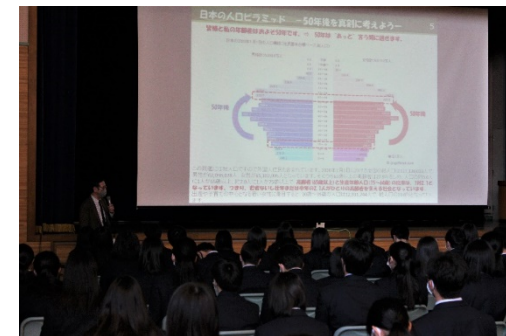
北海道大学・地域協働推進機構との連携協定事業

北海道大学特別出前講座

北海道大学産学・地域協働推進機構と当金庫との連携事業の一環として、地域の人材育成を目的に高校生を対象とした「北海道大学特別出前教室」を開催しています。

10回目の開催となった今回は、釧路明輝高校の1年生を対象に同校体育館で開催しました。北海道大学理事 副学長 増田 隆夫 氏から「エネルギー問題とバイオマスの可能性を探る」をテーマに講演いただきました。講演では50年後に問題となる項目を列挙。その中で、エネルギーと人口問題を解決できれば他の問題も解決できることや新しいエネルギーとして、人が食べない植物を原料とした非可食バイオマスの可能性について、また、地域が抱える人口問題では農業の担い手不足に対応できるスマート農業の具体例を講演いただきました。講演の最後に「50年後は予測することができる。よい社会を実現するために、今やらなくてはならないことを考えて」と生徒へメッセージをいただきました。

- 講演者 北海道大学 理事 副学長 増田 隆夫 氏
- テーマ「エネルギー問題とバイオマスの可能性を探る」
- 日 時 令和3年2月25日（木） 13：30～14：20
- 場 所 釧路明輝高校 体育館
- 共 催 北海道大学産学・地域協働推進機構 大地みらい信用金庫 一般財団法人 大地みらい基金



外部機関との連携状況①

地域の企業やお客さまが抱える課題の解決や、地域資源の情報発信・発掘、事業承継、人材育成の支援充実を図るために様々な機関との連携をしています。

提携機関名	提携内容
北海道大学産学・地域協働推進機構との連携協定 《平成23年10月 締結》	産学連携推進機能を相互活用し、研究シーズと市場ニーズのマッチング、知的財産の活用、人材育成などの分野で具体的な連携を図っています。
北海道根室振興局・釧路総合振興局との包括連携協定 《平成24年3月 締結》	根室・釧路地域の活性化に向けて、産業・雇用の創出と人材の育成を基本コンセプトとし、地域資源の価値向上ならびに根室・釧路地域の更なる発展にむけ取り組んでいます。
札幌医科大学との包括連携協定 《平成25年6月 締結》	産学の連携を通じて相互の発展に寄与するとともに、北海道の保健・医療・福祉の向上など、地域社会の発展に資することを目的として包括連携協定を締結しております。
中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業「地域プラットフォーム」への参画 《平成25年9月》	多様化する中小企業の経営支援ニーズに対し、専門家派遣制度の活用、各参画機関との情報交換を通じ、新事業展開、創業、経営革新等の高度・専門的な経営課題に対応する体制を整備しております。

外部機関との連携状況②

連携機関名	提携内容
<p>一般社団法人中小企業診断協会北海道との業務提携 《平成27年7月 締結》</p>	<p>各種セミナーの開催や人材育成に関する講師の派遣、経営相談会の開催、中小企業診断士の派遣、経営改善支援を通して、中小企業の抱える様々な課題解決を図っています。</p>
<p>(株)アクトナウならびに(株)北海道新事業創造プラザとのクラウドファンディングを活用した地方創生に関する連携協定 《平成28年1月 締結》</p>	<p>クラウドファンディング活用による地域資源の掘り起こしや販路拡大・商品開発などのマーケティングや多様な経営サポートを通じた地場企業の支援を図ります。</p>
<p>一般社団法人 北海道事業承継センターとの連携協定 《平成28年3月 締結》</p>	<p>地域中小企業の事業承継に関するコンサルティング機能、マッチング機能を高めることでM&Aの促進や事業承継支援に取り組んでいます。</p>
<p>一般社団法人 北海道事業承継センターとの協定締結によるしんきん支援ネットワークへの参画 (平成28年4月 締結)</p>	<p>事業拡大や新分野進出のためのM&A、円滑な事業引継ぎ等のニーズには弊金庫単独の情報では対応が難しく、北海道全域に広げるために道内8信用金庫によって広域連携ネットワークを形成し支援体制を構築しました。</p>
<p>(株)日本政策金融公庫との業務連携・協力に関する覚書 (平成31年3月 締結)</p>	<p>根釧、札幌地域における中小企業者等への資金供給、情報提供等相互に協力し、支援する体制をとりました。農業者を対象とした協調商品を創設し、円滑な資金提供を通じてサポートを推進していきます。</p>



<https://www.daichimirai.co.jp>